

..... 編集後記

◆ 巻頭エッセイで地質に関する記念日のことを書き、その中で、「日本で初めて地質図が作られた日」に触れました。これは実は、副見恭子さんが連載されている「ライマン雑記」を読んでいたことなのですが、ライマンがその弟子たちとともに作成した200万分の1「日本蝦夷地質要略之図」、これが日本で最初の広域的な地質図で、その中には明治9年(1876)5月10日の日付が記載されています。

◆ 一方、日本で最初に全土をカバーした、100万分の1「大日本帝国地質図」が発行されたのが、明治32年(1899)4月3日でした。これはパリで開催された第8回万国地質学会に出品されました。これより以前、地質調査所創立後8年目の明治23年(1890年)、原田豊吉により作成された300万分の1「日本群島地質図」(大日本帝国地産要覧図中の折り込み)こそが日本全土をカバーした最初の地質図ですが、残念なことにこれには日付が入っていません。

◆ 中部地質情報展の誌上紹介は、先月号だけでは掲載しきれずに、今月号も9篇の解説記事を載せました。展示したポスターやパネル、岩石や砂のサンプル等など、全てを再現することはとても無理ですが、雰囲気的一端は覗いていただけたかと思えます。

◆ 前号でも書きましたように、本年は島根県松江市にて9月末～10月初めにかけて開催する予定です。

お近くにお住いの方には、是非現地にてお会いしたいと思っております。また、今後、様々な形で、全国に地質情報・地質図に関連したイベントを拡げたいと計画を練っておりますので、いつの日か皆さまの街へもおじゃまできる日が来るかもしれません。

◆ 石灰石鉱業協会の牧さん、松本さんからは、石灰石鉱床の分布、石灰石の用途、生産技術の変遷や、業界の現状・課題等について幅広い内容のご寄稿をいただきました。また、「オーストラリアの鉱山跡をたずねて」と題された原稿は、別子銅山夢物語三部作の最終稿にあたり、新居浜市役所の西原さんからのご寄稿です。所外の方にご執筆いただいた原稿は、誌面にさざ波のような変化を与えて下さいます。ありがとうございました。

◆ 地震地質部の荻谷さんが、沢山のフィールド写真とともに南アフリカの周氷河現象の巡検報告を寄せて下さいました。とても美しい写真ばかりで、全てをカラーで掲載できないのが大変残念です。こんな巡検報告を拝見すると、南アフリカにも行ってみたいくなりますね。

◆ 本号では、久しぶりに地質ニュースの原稿執筆の手引きを掲載いたしました。多くの皆さまのご寄稿をお待ちいたしております。

(湯浅真人)

地質ニュース編集委員会

委員長：湯浅真人

副委員長：石井武政

委員：星住英夫・飯笹幸吉・七山 太・佐々木宗建
佐藤興平・大熊茂雄・石塚 治・木下泰正・
中野 司・遠藤祐二

事務局：総務部業務課広報係(河村幸男・渡辺光次)
〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-3
地質調査所 地質ニュース編集委員会
事務局 Tel. 0298-61-3520
Fax. 0298-61-3569

地質ニュース	第547号	2000年	3月号
		定価¥785(本体価格¥748)	〒実費
	2000年3月1日	発行	
編集	工業技術院地質調査所		
発行人	株式会社 実業公報社		
	代表者 林 光生		
発行所	株式会社 実業公報社		
	東京都千代田区九段北1の7の8 〒102-0073		
	Tel. (03)3265-0951(代表)		
	Fax. (03)3265-0952		
	振替口座 00110-6-32466		
	麹町局私書箱第21号		
印刷	株式会社 エアフォルク		

©2000 Geological Survey of Japan

●本誌は東京都の霞ヶ関政府刊行物サービスセンター
およびつくば市の友朋堂書店本店に常備してありま
す。また、最寄りの書店でも注文できます。

地質ニュースに関するご意見は編集委員会へ